

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ゆめクラブ

公表日 2025年2月15日

利用児童数 20名

回収数 14名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13			1	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容によるかもしれませんが十分かと思いません。 ・屋外の活動が多いので特に問題とは思っていません。 ・人数が増えても常に整理されており以前と変わらず広く感じます。 ・限られたスペースの中で工夫をして活動していただいていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、リスクマネジメントや子どもたちの安心できる活動スペース確保の観点などから、も、必要な物の配置・動線に基づいた分かりやすさ、など、スペース活用の工夫をしております。 	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	12	1		1	<ul style="list-style-type: none"> ・配置人数を知りませんでした。適切だと思います。 ・とてもよく配置されています。 ・外出時のオムツのチェックを頻繁にもらえるとう助かります。 ・長期休暇時の活動など、他方面からスタッフの方々の応援があり有り難かったです。 ・急なお休みなどにも対応しているようで職員は少ないことはないようで安心しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、法定人数を遵守していくとともに、イレギュラーの人員不足にも柔軟に対応し、安全確保はもとより、子どもたちが安心して楽しく、また最大限の力を発揮できるように取り組んでまいります。 	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14					<ul style="list-style-type: none"> ・車いすのスロープも用意していただき助かっています。 ・3月末まだ春休みの活動も続いている中、突如としてステキなロッカーが現れてびっくりしました。職員の方が組み立てたと聞いてまたまた驚きました。使い勝手がよさそうなロッカーにさらに子ども達分かりやすいように使いやすいように工夫が加わっていて大感謝です。 ・車いすのお子さんのことまでよく考えていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易式スロープの利用を続けていくとともに、新しいロッカーの利用なども続けて参ります。 ・また、前述のように、車いす利用のお子さんも含めた、子どもたちの動線や認知力に合わせた構造化も、一人ひとりのお子さんにより違うので、その都度柔軟に設定し直します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14					<ul style="list-style-type: none"> ・常に隅々まできれい。たまたま時間外にお伺いした時、スタッフの方が1枚1枚丁寧に消毒液で拭いてくださっていたのには驚きました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、日々の清掃をなるべく欠かさず取り組んでまいります。また活動に不要なものは置き場所を工夫するなどして、取り組んでいます。
5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1			1	<ul style="list-style-type: none"> ・学校よりも子どもの特性を理解して手厚く支援してもらっていると感じます。 ・専門性のある支援と聞かれるとスタッフの方全員がそうであるとは思っていないので微妙です。 ・子どもの特性はよく理解していただいています。 ・登室時いつもちょっとした子どもの変化に気づいて声をかけていただき、子どもが安心して嬉しく緊張がほぐれています。私が子どもとの関わりでうまくいかない時、話を聞いてくださって「お子さんの特性からしてこんな気持ちだったのかもしれない」と気づかせてくれたり「その場合はこうしてみれば？」とアドバイスもいただき、でも強制的ではないところが有難く心強いです。 ・それぞれのお子さんに合わせた対応をしてもらえていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆめクラブの活動方針である「子どもの心の居場所となること」「遊びの中で発達を保障すること」は、専門性を持ちえずには成り立ちません。引き続き、職員一同が研鑽に励んで参りますとともに、日々の定例のミーティングの中でも、情報共有だけでなく、子どもたちを中心に置いた必要な知識を共有し、チームとしての力量upも図ってまいります。 	
6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	1				<ul style="list-style-type: none"> ・事業所が目指す理念に基づいている支援プログラムと聞かれると答えが難しいですが、理念には共感しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援プログラムについて公表が遅くなってしまいました。次回更新の際は速やかに行うとともに、周知も欠かさず行って参ります。 	

適切な支援の提供	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・少しずつは成長がみられるも、これといった突破口を見いだせず思い悩む日々です。状況表と支援計画にはとても細かく客観的にこれまでや現状をまとめて下さっているのを煮詰まった時に読んで軌道修正させてもらっています。子どもの性質、性格や専門的な知識をふまえて理解して下さっている状況表や支援計画を読み返しヒントや勇気をもらっています。 ・毎回たくさんの言葉で分かりやすく作成していただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本来のお子さんのニーズや、保護者の方のニーズと、理念を基にした私たちの考える目標が、同じ方向性のものになるよう、文章化したものを保護者の方と一緒に確認していただき、説明や意見交換や細かな修正をするなどし完成させております。独自の偏りのある内容にならないよう、また、画一的で抽象的なものにならないよう、保護者の方にご協力をいただきながら、今後も作成して参ります。 ・なるべくコンパクトにまとめる努力も
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・本人やご家族のねがいと乖離しないよう、ご意見を伺いながら設定しています。 	
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・計画にあるように本人に気負わさせることなく、活動中の合間にできそうかも!?ということにチャレンジさせてもらっていることに大変感謝しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、計画ありきではなく、お子さんの実態にあった普段の姿から計画を作成するようにし、支援に繋がってまいります。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	3			<ul style="list-style-type: none"> ・曜日や季節、お天気に合わせて色々と考えていると思います。 ・曜日ごとに活動内容が違うこと以外に子どもの特性や体調、希望など常に配慮され、それに合った工夫がされています。また当日のスタッフの方やお友達との兼ね合いとかまで考えてグループを作って下さって本人も安心して参加できています。ありがとうございます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、子どもたちのより良い達成にとつて、必要な変化を加えて参ります。ただその際にも、子どもたちにとって、納得できる・分かりやすい、などの変更を心がけています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	8	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・親子活動やきょうだい参加は必要だと思いますが、この表の地域の知らない子との交流はムリがあり必要もないのではと思ってしまう。 ・公園や公共交通機関を使うなどしているので自然と関わる機会があります。 ・きょうだい児と一緒に交流することはありますが地域の…という外出先の土手や公園?になるのか。 ・地域の交流となるとそういう場があるかよく分らず…。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主な対象を中高生としていることから、地域の他の子どもとの交流の機会は必然的に狭くなってしまいがちですが、ご意見にもありますように、近隣のお店や施設、土手や公園などの公共の場の活用も普段の活動の中で多く取り入れ、交流の機会とさせていただいております。
保護者へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・変更があった場合などでも、都度保護者会で詳しい説明があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・都度、保護者会や定例の面談等の機会を説明させていただいてまいりますとともに、ご質問等にも常時答えて参ります。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14					<ul style="list-style-type: none"> ・前述のように、この点は最も大切なことのひとつとして、引き続き取り組んでまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13		1		<ul style="list-style-type: none"> ・他の組織である会からのお知らせ等は情報をいただいていますし、参加する機会を与えてもらってはいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例の個人面談や保護者会の中で、ご家族に必要な支援等を相談させていただいております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・ゆめクラブに送って行った時には必ず「何かありますか」と声をかけていただいています。学校への行き渋りの様子を話したり風邪や生理などコンディションを伝えたりもでき安心してあずけられて大変助かっています。 ・すごく細かい所まで連絡帳に記入していただきよく見てくださっているのが分かります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例の機会だけでなく、日々のお子さんの変化や、疑問符などをご家庭と共有させていただいたり、お子さんを取り巻く細かな状況や環境の変化なども教えていただいたり、非常に細かな点に至るまでご家庭に協力をお願いできており、感謝にたえません。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・面談以外でも毎日の送迎時に助言していただいています。 ・活動中、子どもとった行動に「本当はこうしたかったのかもしれない」「おうちではどうですか」など報告していただいています。それを受けて外での子どもの困りごとで気づくこともできて大変助かっています。その対処方法を相談させてもらい、うまくいって一歩前進できたことも数多くありました。いつも子どもの気持ちを組みとつて、でも自然に接してくれてそれが子どもにも伝わって大好きな場所、人となっています。ありがとうございます。 ・アドバイスは常に有難いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・上記と同様ですが、ご家庭の多大なるご協力の賜物で、助言や、助言に至らないような意見交換でも、聞き入れていただいております、とてもありがたいです。
17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・とても思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・共感的支援は、やはり専門性に裏付けされるものであり、そのために必要な研鑽を今後も職員一同行って参ります。 	

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や様々なイベントがありとても楽しんでいます。 ・18才の一応大人のうちのお姉ちゃん、家ではツツンとして話しかけづらかったりもします。クリスマス会でサンタさんからのサプライズプレゼントに嬉し恥ずかしい幼い頃みたいな表情も見せてくれました。嬉しかったです！どうもありがとうございました。 ・夏祭りやクリスマス会もたくさん練習した成果が見れて成長を感じられます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中高生を対象としている点から、お子さん本人とご家族との関係に対し、支援者は、小さいころとはまた別の配慮も持つべきと考えますので、そうした点に留意しながら、最大限に機会を持ち、また必要に言応じて、それに向けて子どもたちと一緒に作り上げていく準備も、大切にしたいと思います。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・その日のコンディション以外にも登室方法や携帯電話の使用についてなど相談させてもらうとすぐ対応して下さり有難かったです。また職員の方々の情報共有がしっかりとされており、いちいち説明しなくても通じることに信頼感を得ています。 ・なかなか帰宅できないときもきちんとルールを決めてくださり、本人に寄り添った対応を考えて下さり有難かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんに成長の機会となりうる、本人やご家庭からの相談には、できる限り実現に向け柔軟に対応させていただきますとともに、独善的な対応に至ってしまわないように、やり取りを必要に応じて複数回行い、対応させていただくようにしてまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて子どもも混じえて3人で話し合うことで、本人も納得して活動への見通しが立ち緊張がほぐれてから参加ができて有り難いです。 ・時にはメールでも何かあれば連絡が取れるので助かっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんとの意思疎通はもとより、保護者の方に対しても、特に中高生を対象としており、お子さん自身はたとえ良いことであっても自分のことを目の前であれこれ話されることを快く思わないことも少なくありません。こうした配慮を前提に、保護者の方との意思疎通を図ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・毎月のおたよりはとても楽しみです。 ・毎月のおたよりで日ごろの様子や予定などを配っていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんたちには室内の掲示等でも共有を図っています。設問の意図でのホームページの活用に関してはまだ至っておりませんが、毎月発行のお便りや紙面、保護者会等でも引き続き発信して参ります。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14				<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、ご家庭に同意をいただいておりますものでも、扱いは注意を払ってまいります。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・細かく分類されると全部が網羅されているかは微妙です。 ・事故だけでなくインフルエンザの対応なども感染拡大しないように考えて下さっています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他にも伝えたい事項が多岐にわたりました内容も濃くしていきたいので、これに特化した説明の機会となるを持ち切れていない現状です。今後、効率的な周知方法を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ここはお知らせが届いていないだけで実施されているのだと思っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、学期に一回、訓練を行って参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	10	1	3		<ul style="list-style-type: none"> ・紙芝居等や電子媒体等を利用して、今後も分かりやすく、かつ不安を与えないよう配慮しつつ、支援を行います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	13		1	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらから聞いたら丁寧に教えてくれました。ちゃんと見てくださっていたのでそれで良いです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事故や怪我等を避けることは当然として、どうしてそうなったかが分からない、ということのないように、職員一同取り組んでまいります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・とても落ち着いて安心して通所しています。 ・心のよりどころとなっています。本当にありがとうございます。 ・自分の居場所があるという安心感を持っていると思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前述のように、子どもたち一人ひとりの、物理的な場所だけでなく『心の居場所』であることと『また来たいと思える場所』を目指しております。これは、刻一刻と成長・変化するお子さん自身、そして変化し続ける周囲の環境のもと、終わりのない情報共有を惜みずに行ってくださる保護者の皆さまのご協力の賜物に他なりません。ご厚意に甘えずに、仲間づくり・発達を保障するためのチームの力量アップを図っていきたく思います。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの気持ちの大きな拠り所です、家での生活が安定してきました。 ・楽しみにしています、特に自分の好きな行き先の日はとても楽しみなようで何度も確認してきます。 ・ゆめクラブがない日も「ゆめに行きたい」と言う。 ・休み中も「ゆめ」と言葉にし通所を楽しみにしています。 	
	29	事業所の支援に満足していますか。	14			<ul style="list-style-type: none"> ・親子共々とても満足しています。 ・親の気持ちもよく理解して下さってありがたい。 ・もうすぐ終わりで淋しいですが良い時間を過ごせて満足です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんについての学校・家庭に次ぐ『第三の場』として、チームに加えてくださり、光栄に思います。一員として、お子さんのために今後も職員一同、尽力してまいります。よろしくお願いたします。